☎ 0269-67-0729（直通）
FAX 0269-62-6221（2階代表）

がんばっています！ No.57

「北信エリアで唯一の採卵養鶏場」

吉越 洋治（ひろはる）さん・多津子（たづこ）さん（瑞穂地区・関沢）

父の代から養鶏場を営み、現在は二代目として活躍する吉越洋治さん。現在は奥さんの多津子さんとパート従業員とともに、ひよこも含めると約2万羽の鶏を飼育し、北信エリアで唯一の採卵養鶏場として、独自ブランド『菜の花みゆき卵』の生産に情熱を注いでいます。

Q 農業を継ぐきっかけは？

A 重い話になるので、やめておきます。（笑）

Q 一日の仕事内容は？

A 朝8時くらいから午前中は、洗卵、選別、出荷作業。15時からは集卵作業を行います。

選別自動ライン機に卵を置くと、卵を水洗いしてから、大きさに応じて3L、2L、L、M、MS、S、SSの7種類に選別されます。そのあとパックに詰めて荷造りをします。

Q 大変なことは？

A なかなか休日がないことです。また、仕事上、地域の皆さまにはご迷惑をおかけし、大変申し訳なく思っています。

Q うれしいことは？

A ヒナから育てた鶏が卵を産んでくれた時です。現実には、最初から餌を食べないヒナも何割かいます。そんな中でも元気に育って、卵を産んでくれた時はうれしいですね。

Q こだわっていることは？

A 自家育成を信条としています。購入したヒナが卵を産めるようになるまで、おおよそ120日間かかります。そのため、鶏舎の温度や湿度の管理、鶏の健康管理に気を配りながら育てています。

Q 目指すことは？

A 精一杯やってきました。今後はもう少し休みを増やし、一般的な勤務体系にしていきたいですね。農業者年金に加入しているので、60歳以降が楽しみです。

自動で選別

卵は近隣の菓子店や飲食店でも使用されています

情報委員レポート

生き物相手ですと本当に大変な毎日ですが、ご夫婦の丁寧な仕事と、仲の良さと、鶏に対する愛情がおいしい卵作りに繋がっています。

卵はAコープみゆき店などで購入できます。本当に美味しいので、ぜひ味わってみてください。（藤本英喜）

あしあと 1・2月の活動記録

1月	9日	農業委員会役員会
	28日	1月農業委員会総会
	〃	農業振興農政対策委員会、情報委員会
2月	9日	農業委員会役員会
	17日	県農業委員会女性協議会研修会
	18日	農地利用最適化推進研修会
	26日	2月農業委員会総会

シリーズ　地域計画

地域の農業を守る

10年後の農地のイメージ図

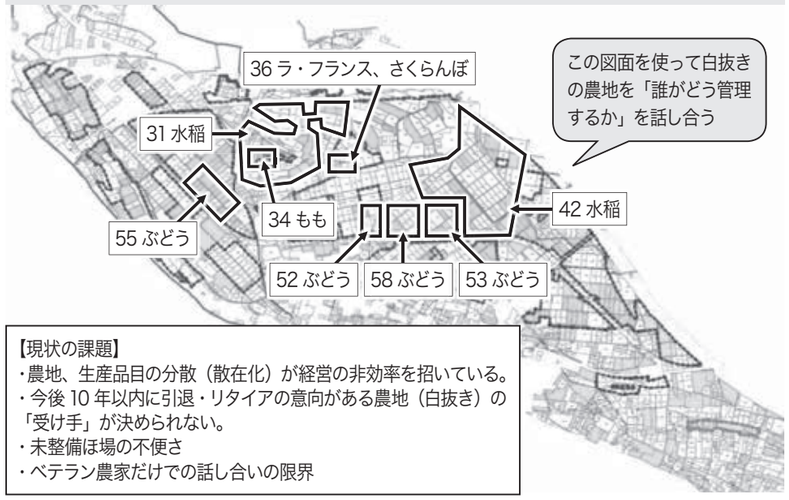
「地域計画」は、将来にわたり地域の農地を守り有効活用するため、概ね10年後の農地利用の姿を地域の話し合いで明確にするものです。担い手への農地集積・集約化や荒廃農地の発生防止を目的としています。本市では昨年3月に市内9地区で計画を策定しましたが、今後は各地区での話し合いを重ね、計画を一層磨き上げ、実効性を高めることが重要です。

その参考として、先進地である山形県寒河江市の取り組みを紹介します。同市では、農地の利用状況や担い手の現状を整理した現状地図を基に課題を共有し、話し合いを重ねながら将来の農地利用を目標地図としてまとめています。話し合いにはベテランだけでなく若手も参加し、合意形成を図りながら、担い手や栽培品目ごとに農地の集約を計画しています。また、新規就農者の受け入れや基盤整備を進めるなど、地域全体で農地を引き継ぐ体制づくりも進められています。

掲載の「現状地図」と「目標地図」を見比べ、地域計画を具体的な取り組みへつなげるイメージをご覧ください。本市も引き続き話し合いを重ね、地域計画を着実に磨き上げ、実現につなげてまいります。

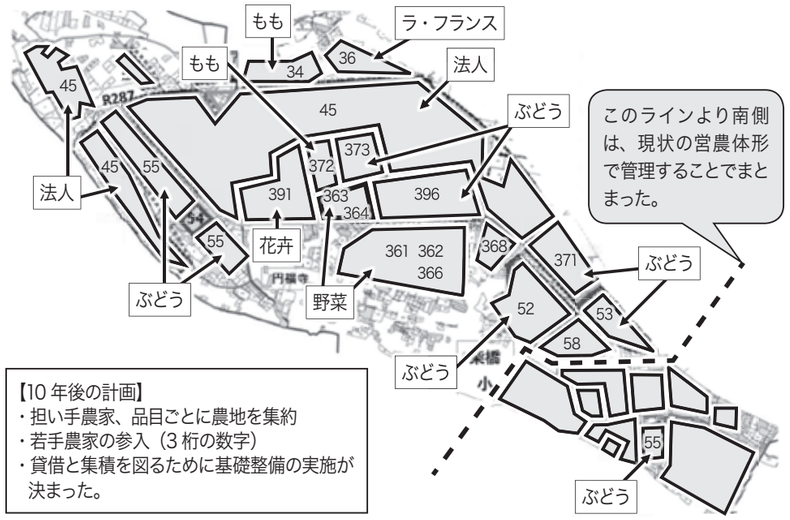
「山形県農村づくりプロデューサー 髙橋信博氏～講演資料より～」

現状地図



【現状の課題】
- 農地、生産品目の分散（散在化）が経営の非効率を招いている。
- 今後10年以内に引退・リタイアの意向がある農地（白抜き）の「受け手」が決められない。
- 未整備ほ場の不便さ
- ベテラン農家だけでの話し合いの限界

10年後の「目標地図」



【10年後の計画】
- 担い手農家、品目ごとに農地を集約
- 若手農家の参入（3桁の数字）
- 貸借と集積を図るために基礎整備の実施が決まった。

農業者年金に加入しませんか？

次の要件を満たす方ならどなたでも加入できます。

■年間60日以上農業に従事
■国民年金第1号被保険者
■65歳未満
（ただし、60歳以上は国民年金任意加入被保険者）